

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アートによる地域の魅力新発見と交流推進事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス国際芸術祭実行委員会 (事務局：田中 0261-85-0133)
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,094,487 円 (うち支援金： 3,561,000 円)

事業内容

1 アーティストによる地域の魅力新発見  
国内外からアーティストを招聘し、市内数十か所に及ぶ様々な場所、建物、歴史的建造物等を視察し、芸術的観点から新たな魅力ポイントを発掘する。

具体的な事業は以下のとおり。

- ① 大町市の現地見学会の開催 R1.6.15~6.16
- ② 招聘アーティストの個別視察 R1.10~R2.3  
国内18作家、海外12作家が視察を実施。

2 アーティストと多様な人々との相互間交流による関係、等拡大促進

住民や県内外の大町ファン、ボランティアとの交流事業として、アーティストが外部からの新たな視点で気づいた地域の魅力、材料、風習などをもとに、ワークショップを企画・展開するまた、ワークショップ以外に交流会等も開催した。具体的な事業は以下のとおり。ワークショップはWSと記載。

- ① 国松希根太WS R1.7.17 大町南小学校
- ② アーティスト交流会 R1.11.23 麻倉Arts&Crafts
- ③ ちいちゃい誓いWS R1.11.26 大町西小学校
- ④ コタケマンWS1 R1.12.5~8 麻倉
- ⑤ コタケマンWS2 R1.12.9 大町岳陽高校
- ⑥ 作家交流会 R1.12.13 .BASE OMACHI
- ⑦ 作品展覧会 R1.12.12~15 市街地4か所

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

A) 事業1関係では、延べ、61作家が大町市へ訪れ、大町市の様々な場所を視察した。住民からのヒアリングを通してプランを固めていく作家も多く、住民にとっても海外等の作家に地元を紹介する機会は得難いものであり、作家から提示される価値感も住民にとっては目新しい意見が多かったとの声が聞かれた。また事業2関係では、特に若年層へ新たな視点を身につけるきっかけを作ることができた。

活動写真は別紙へ掲載。

【目標・ねらい】

- A) 住民がアーティストとの交流等を通して、地域の魅力を再認識する。アーティストの感性から、地域に対する新たな視点を発見する。
- B) アーティスト・地域住民・県内外の大町ファンと交流を深める。
- C) 地域について事業を通して、広く広報宣伝を行う。

※自己評価 【 A 】

- 【理由】
- A) 事業をとおして、大町市の様々な年代の人々に新たな視点を身につけてもらうことができた。
  - B) 事業1関係では、おおよそ100名の住民とアーティストとの交流を、事業2関係ではおおよそ1,400名の交流を図ることができた。
  - C) 新聞・テレビ計102本で取り上げられた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- B) 今回はワークショップを特に学校で行ったことにより、幅広い年代が多様な人々と交流を深めることができた。また、交流会を設けたことにより、さらに多様な人々と交流する機会を設けることができた。
- C) この事業を通じて、新聞・テレビ等へ取り上げられ、広告換算すると1,764万円となった。

### 今後の取り組み

開催が予定されている北アルプス国際芸術祭2020(新型コロナウイルス対策により会期未定で延期中)に向けて、さらに地域の魅力の掘り起こしと磨き上げを行い、住民が地域の魅力を再認識できるよう、引き続き事業を展開していきたい。

今後は、地域住民とともに、大町市について、知ってもらい訪れてもらうための方法を検討し、より広く大町市の魅力を知ってもらうための事業を展開していく。